

# 令和8年度予算案のEBPM「母子保健衛生対策推進事業委託費」

## 課題データ

男女問わず不妊症等に関する差別・偏見や社会的重圧があることが考えられ、それを是正することや、不妊治療や不育症に関する正しい知識などについて、普及啓発を行うことにより、国民における不妊症等に対する理解を深める必要がある。また、不妊症・不育症患者や、流産・死産を経験した者に対する精神的サポートとして、医師、助産師、看護師、心理職など専門職による支援に加え、過去に同様の治療を経験した者による傾聴的な寄り添い型ピアサポートが重要かつ有用であると指摘されているなど、母子保健分野の様々な課題を解決していく必要がある。

## 事業

### 母子保健衛生対策推進事業委託費

令和7年度補正予算：14億円  
令和8年度当初予算案：3.2億円

様々な悩みや不安を抱え、複雑な精神心理状況にある不妊症・不育症患者の相談体制の充実を図ることを目的とし、気軽に相談できるピア・サポーターの育成のための研修や医療従事者がより医学的・専門的な知識による支援を実施できるよう研修を実施する。また、不妊症・不育症等に対して国民の理解を深めるとともに、治療を受けやすい環境整備に係る機運の醸成を図ることを目的とし広報啓発を行うなど、母子保健対策の推進に係る事業を実施する。

- (1) 不妊症・不育症に関する広報・啓発促進事業 (2) 不妊症・不育症ピアサポーター育成研修等事業 (3) プレコンセプションケア推進事業

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

## EBPM指標

<b>アウトプット</b>	不妊症・不育症に関するフォーラム視聴数（当日） 2026年度 200件（188件）	不妊症・不育症患者等に対するピアサポーター、 医療従事者等への研修の開催回数 2026年度 3回（4回）	プレコンセプションケアの普及啓発に関する 委託事業を実施
<b>短期 アウトカム</b>	フォーラム参加者のうち理解が深まったと 回答した人数の割合 2026年度 100%（98.5%）	研修の受講者数 2026年度 2,400人 （1,231人）	広報媒体のアクセス数
<b>中期 アウトカム</b>	-	-	-
<b>長期 アウトカム</b>	不妊症・不育症についての適切な知識が普及し、社会的 な理解の促進	不妊治療中の方々への相談体制の充実	プレコンセプションケアの認知度の上昇

## 目標

こども・若者の権利保障と  
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の  
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と  
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み